



学校便り

令和4年度-NO.11

終わり良ければ全て良し でも終わりっていつ？

子供が小さい頃に、ショッピングモールで乗っていたエレベーターから子供と一緒に降りようとした時、ドアに挟まれかけたことがあります。子供は泣きましたが、その後すぐに、もう一度エレベーターに乗り込みました。前にこんな話を聞いていたからです。体操選手が鉄棒の練習中に落下した時、大怪我をしていますが、とりあえず無理やりその選手に鉄棒を握らせませす。怪我から復帰した時に、鉄棒を怖がらないようにするための策だそうです。昔の話ですので今はそれが正しいことなのかは分かりません。なので、春休みの卒業旅行などでU S Jに行った時、フライング・ダイナソー（絶叫系ジェットコースター）からフラフラで降りてきた友達の手を引っ張って、バックドロップ（後ろ向きジェットコースター）の列に並びに行くのはやめた方が良いでしょう。

社会心理学に「ピーク・エンド法則」というものがあります。過去の体験を思い出す時、記憶はその体験の最高の瞬間と最後のあり方に支配されるというものです。例えばこんな事例があります。「麻酔をかけずに行う結腸内視鏡検査は最後の結腸内の奥に挿入された時がすごく痛い。だから5年後の再検査は半分程度の人しか受けない。そこで、一番痛いところで引き抜くのではなくて、少しの間そこに留まらせてから引き抜いた。そうすると強い痛みが最後になることはない。その結果、再検査率が70%に上がった。引き抜くのを遅くした分、不快感は長引くが弱い痛みを最後にもってくることで全体の苦痛の印象がより軽いものになった」。終わり良ければ全て良し、ということでしょう。

学年最後の月、3月になりました。6年生にとっては小学校生活最後の月になります。ただ、この一か月の印象によって、これまでに積み上げてきたものの良し悪しが決まるわけではありません。思い描いた成果が得られなかったからこそ、その悔しさをバネにして次のステージで飛躍することもあるでしょう。要はどこがピークでどこをエンドとするか、究極的には人生の終わりをどう迎えるか、という話になってくるわけです。

私が子供の頃、神社で泣いていました。帰り際、大鳥居の上に石が乗ったら願いが叶うと言うので投げたら一発で乗りました。どうして泣いていたのか思い出せませんが、石が乗った嬉しさだけは覚えています（その時に何を願ったのかは覚えていないので、願いが叶ったかどうかは確かめようがありませんが…）。1日、1年、小学校6年間…、節目、節目はやはり笑顔で終わりたいものですね。さて、4月からはマスク生活の終わりになるのでしょうか？ 願うのは、マスクの取れた皆さんの口元が、清々しい笑みでありますように…。



(校長 河合 康一)

【3月の予定】

- 3日（金）6年生を送る会
- 6日（月）朝会
- 7日（火）6年生を送る会予備日
- 9日（木）放課後学習最終日
- 16日（木）給食終了日(13時30分下校)
- 20日（月）卒業証書授与式(6年)
- 24日（金）修了式
- 27日（月）～春季休業



【4月の主な予定】

- 5日（水）新6年生登校日
- 7日（金）始業式
- 10日（月）入学式
- 12日（水）給食開始、離任式(6時間目)
- 14日（金）委員会活動
- 17日（月）参観・懇談(※詳細は新年度にお知らせ)
- 20日（木）1年生を迎える会
- 21日（金）一斉下校

【卒業証書授与式について】

3月20日（月）に第149回卒業証書授与式を行います。来賓は最小限の人数に絞り、卒業生、卒業生の保護者、教職員のみでの参加で実施します。マスクについては、国や尼崎市の方針を受け、歌や呼びかけの時は着用しますが、それ以外の場面では児童、及び教職員はマスクを外すことを基本とします。保護者や来賓はマスク着用をお願いします。6年生にとって素晴らしい門出の式になりますよう、教職員一同、しっかりと準備を進めてまいります。

【学校運営協議会の設置について】

学校運営協議会、いわゆるコミュニティースクールの設置について、本校は先月2月20日に尼崎市教育長より、設置証と委員（14名）の辞令が交付されました。今後は年に3回程度の会議を持ち、地域と学校が共に協議し、子どもたちのためにできることを考ながら、「地域とともにある学校づくり」を推進していきます。

【学校施設マネジメント計画（実施計画）について】

尼崎市教育委員会 施設課が今年の1月に公表した計画があります。建築後の年数や劣化状況の評価を参考に順位付けを行い、校舎の建替えや改修等を進めていくというものです。令和5～14年度に建替え、または改修を行う対象校に、本校も含まれています。詳しくは、見出しの計画名でネット検索してみてください。